

# 磐城時報

福島縣石城郡平町町十四  
編輯兼發行所 田中弘成  
印刷所 加納活版所  
福島縣石城郡平町町十四  
電話 一〇四  
一〇五  
一〇六  
一〇七  
一〇八  
一〇九  
一〇一〇  
一〇一一  
一〇一二  
一〇一三  
一〇一四  
一〇一五  
一〇一六  
一〇一七  
一〇一八  
一〇一九  
一〇二〇  
一〇二一  
一〇二二  
一〇二三  
一〇二四  
一〇二五  
一〇二六  
一〇二七  
一〇二八  
一〇二九  
一〇三〇  
一〇三一  
一〇三二  
一〇三三  
一〇三四  
一〇三五  
一〇三六  
一〇三七  
一〇三八  
一〇三九  
一〇四〇  
一〇四一  
一〇四二  
一〇四三  
一〇四四  
一〇四五  
一〇四六  
一〇四七  
一〇四八  
一〇四九  
一〇五〇  
一〇五一  
一〇五二  
一〇五三  
一〇五四  
一〇五五  
一〇五六  
一〇五七  
一〇五八  
一〇五九  
一〇六〇  
一〇六一  
一〇六二  
一〇六三  
一〇六四  
一〇六五  
一〇六六  
一〇六七  
一〇六八  
一〇六九  
一〇七〇  
一〇七一  
一〇七二  
一〇七三  
一〇七四  
一〇七五  
一〇七六  
一〇七七  
一〇七八  
一〇七九  
一〇八〇  
一〇八一  
一〇八二  
一〇八三  
一〇八四  
一〇八五  
一〇八六  
一〇八七  
一〇八八  
一〇八九  
一〇九〇  
一〇九一  
一〇九二  
一〇九三  
一〇九四  
一〇九五  
一〇九六  
一〇九七  
一〇九八  
一〇九九  
一一〇〇  
一一〇一  
一一〇二  
一一〇三  
一一〇四  
一一〇五  
一一〇六  
一一〇七  
一一〇八  
一一〇九  
一一一〇  
一一一一  
一一一二  
一一一三  
一一一四  
一一一五  
一一一六  
一一一七  
一一一八  
一一一九  
一一二〇  
一一二一  
一一二二  
一一二三  
一一二四  
一一二五  
一一二六  
一一二七  
一一二八  
一一二九  
一一三〇  
一一三一  
一一三二  
一一三三  
一一三四  
一一三五  
一一三六  
一一三七  
一一三八  
一一三九  
一一四〇  
一一四一  
一一四二  
一一四三  
一一四四  
一一四五  
一一四六  
一一四七  
一一四八  
一一四九  
一一五〇  
一一五一  
一一五二  
一一五三  
一一五四  
一一五五  
一一五六  
一一五七  
一一五八  
一一五九  
一一六〇  
一一六一  
一一六二  
一一六三  
一一六四  
一一六五  
一一六六  
一一六七  
一一六八  
一一六九  
一一七〇  
一一七一  
一一七二  
一一七三  
一一七四  
一一七五  
一一七六  
一一七七  
一一七八  
一一七九  
一一八〇  
一一八一  
一一八二  
一一八三  
一一八四  
一一八五  
一一八六  
一一八七  
一一八八  
一一八九  
一一九〇  
一一九一  
一一九二  
一一九三  
一一九四  
一一九五  
一一九六  
一一九七  
一一九八  
一一九九  
一二〇〇  
一二〇一  
一二〇二  
一二〇三  
一二〇四  
一二〇五  
一二〇六  
一二〇七  
一二〇八  
一二〇九  
一二一〇  
一二一一  
一二一二  
一二一三  
一二一四  
一二一五  
一二一六  
一二一七  
一二一八  
一二一九  
一二二〇  
一二二一  
一二二二  
一二二三  
一二二四  
一二二五  
一二二六  
一二二七  
一二二八  
一二二九  
一二三〇  
一二三一  
一二三二  
一二三三  
一二三四  
一二三五  
一二三六  
一二三七  
一二三八  
一二三九  
一二四〇  
一二四一  
一二四二  
一二四三  
一二四四  
一二四五  
一二四六  
一二四七  
一二四八  
一二四九  
一二五〇  
一二五一  
一二五二  
一二五三  
一二五四  
一二五五  
一二五六  
一二五七  
一二五八  
一二五九  
一二六〇  
一二六一  
一二六二  
一二六三  
一二六四  
一二六五  
一二六六  
一二六七  
一二六八  
一二六九  
一二七〇  
一二七一  
一二七二  
一二七三  
一二七四  
一二七五  
一二七六  
一二七七  
一二七八  
一二七九  
一二八〇  
一二八一  
一二八二  
一二八三  
一二八四  
一二八五  
一二八六  
一二八七  
一二八八  
一二八九  
一二九〇  
一二九一  
一二九二  
一二九三  
一二九四  
一二九五  
一二九六  
一二九七  
一二九八  
一二九九  
一三〇〇  
一三〇一  
一三〇二  
一三〇三  
一三〇四  
一三〇五  
一三〇六  
一三〇七  
一三〇八  
一三〇九  
一三一〇  
一三一〇

## 平町の産業博覧會 知と事迎えて開館式

### 設備萬端全く整ひ 各館とも獵奇心をそゝる

平町の産業博覧會は愈々四月一ラチオ熱を煽る等各會場とも見  
日村井知事の臨席を得て盛大な開館式を挙げる事になった。  
開館式を挙げる事になった。  
開館式を挙げる事になった。

## 小名濱農會總會

小名濱町農會では三十日午前十  
時から役場で總會を開き昭和七  
年度豫算七百九十一圓を可決。  
年度豫算七百九十一圓を可決。  
年度豫算七百九十一圓を可決。

## 酒井氏陳情

平町白銀町ローマ商會酒井二  
氏は渡米問題陳情のため三十日  
出陣した。  
出陣した。  
出陣した。

## 納税組合 奨励金交付

石城郡神谷村では二十八日午前  
に役員會を開いて具体的協議  
を遂げた。  
を遂げた。  
を遂げた。

## 小名濱町の水道 工費六十萬圓で着手

### 一切を茂庭博士に一任

小名濱町では既報の如く水道布設協議會を開いた結果愈々總工費  
六十萬圓で水道を布設する事と  
得て町會を開き意見を聴取した  
なり工事の一切を茂庭博士に一  
任する事になった。工費は四分  
が、その後同町では再三町會の  
任する事になった。工費は四分

## 四倉町の 區長決定

四倉町各區長は三十一日任期満  
了し左の如く二十區長が任命さ  
れた。  
任命された。  
任命された。

## 四月の人の出を機に 佛教團で路傍講演

石城郡佛教聯合會では四月平町  
に産業博覧會が開かれるのを機  
とし僧侶總出で思想善導の路傍  
講演を行ふ事となり平町九品寺  
に役員會を開いて具体的協議  
を遂げた。  
を遂げた。  
を遂げた。

## 四倉組頭歓迎會

四倉消防組の歓迎會は二十九  
日午後七時より四倉町一心に於  
て行つた。  
行つた。  
行つた。

## 田町の小火で 赤塚氏の迷惑

平町田町料理店福榮亭では過般  
小火を出したが、一般では賣來  
赤塚彦治氏方と誤解し毎日の  
如く見舞を受るので困つてゐる  
困つてゐる。  
困つてゐる。

## 警城中學入學生

警城中學校新入學生は三十一日  
朝發表されたが左の如く入學式  
は四日午後一時舉行する。  
舉行する。  
舉行する。

- 第一區長 谷川徳松(山野邊寅太郎) 第二區長 横田才次郎(長谷川拾吉) 第三區長 多島安吉(門馬直吉) 第四區長 渡邊爲八郎(鈴木清次) 第五區長 緒方金次郎(新妻忠一) 第六區長 鈴木豊高(小沼光造) 第七區長 古市松之助(緒方房吉) 第八區長 鈴木松次(古川松之助) 第九區長 本長三郎(鈴木繁次郎) 第十區長 谷川信次郎(草野吉藏) 第十一區長 大河原春吉(菅波末吉) 第十二區長 飯田友吉(鈴木末吉) 第十三區長 鈴木己之松(小林助太郎) 第十四區長 中村與八郎(鈴木米吉) 第十五區長 藤福松(濱田丑次郎) 第十六區長 佐藤三五郎(遠藤寅吉) 第十七區長 山藤吉(鈴木長助) 第十八區長 菊地伊太郎(高木市三郎) 第十九區長 長瀬慶重(鈴木宗平) 第二十區長 和田頑三郎(箱崎倉次) 以上
- 阿部榮五、湊徹郎、加藤林、赤津明、田村農夫、阿部貞太郎、大和田勇、青木滿男、篠原英任、紺野繁雄、鈴木四郎、吉野八十榮、鈴木壽、門馬杏一、安齋一郎、石田公俊、宇津野勘壽、磯上光男、松本迪男、藤原清剛、山家重三、大野章雄、戸來敏光、山名光男、鈴木吉平、高階侃、長谷川敏、船田義澄、佐川貞、榊原貞男、明智一、鈴木洋三、新妻孝次、大原馨金子正三、星野義寛、橋八郎、鈴木清忠、鈴木輝男、菊地民部、山崎導雄、安藤源資、高木俊雄、高木金重、平澤正成、作山友、早見可中、赤塚兼松、大友通雄、秋山清、秋山金彌、長瀬高行、平山壽一、三好正己、三島浩、酒井健、渡邊正喜、鈴木武雄、木田博、鷲七郎、北野正明、鈴木源一、箱崎孝一、戸田貞雄、佐々木士郎、額賀弘、比佐九、石川博、佐藤松雄、小松明生、木田茂敏、赤津益太郎、猪狩武雄、吉田豊、矢内朝彦、根本榮二、弓野治郎、鈴木一、米川清、草野一郎、山下剛、飯高洋保、片寄忠浩、渡邊行郎、櫻村洋、木田唯三郎、長谷川隆、佐藤義雄、佐藤進、松田浩一、加賀慶太郎、成清磐城、山田晋、牧田清、鈴木佐造、新井美照、久松滿、石崎久雄、大野昌二、塚本三郎、山下卓也、嶋原宏、新妻義雄、山口重男、丹野英明、木村義貞、西山勇造、佐体があるのを線路工夫が発見平藤信雄、渡邊唯一郎、小林安、青天目武夫、渡邊藤二、柴田越雄、矢野仁一、

## 澤渡村の 二歳駒糶

石城郡澤渡村の二歳駒糶市は三  
十日から三日まで五日間同村大  
字中寺字宿田子佐吉方で開催中  
である。  
開催中である。  
開催中である。

## 石城各濱の大敷網 愈々準備に着手

石城郡小名濱、豊間、四倉各濱南社では四月九日午後六時から  
の大敷網は何れも五月頃から漁  
を開始する筈で、豊間では三  
十日漁夫百二十名、四倉では八  
十名が乗り込み準備に着手した  
準備に着手した。  
準備に着手した。

## 音楽獨唱會

平町詩備はした。  
詩備はした。  
詩備はした。

## 詠歌會

平町詠歌會では二十八日堂の前現浄寺に  
於て赤井謙信を招き詠歌會を  
行つた。  
行つた。  
行つた。

## 小名濱町の そばや總會

石城郡小名濱町そば屋組合では  
三十日上町佐藤政治方で總會を  
開き左の如く役員を決定した。  
役員を決定した。  
役員を決定した。

## 秋に延期 大子堂祭典

平町九品寺大子堂祭典は二十九  
日執行の筈であったが時節柄役  
員二十名が集まつて祭式を行つ  
たのみで秋期に大祭を執行する  
事になった。  
事になった。  
事になった。

## 鎌田トネルに 番頭風の死体

三十一日午前六時頃石城郡神谷  
村神谷トネル西方入口に年餘  
二十五歳前後番頭風の男の體死  
体があるのを線路工夫が発見平  
藤信雄、渡邊唯一郎、小林安、  
元不明で同村役場で假埋葬を行  
つた。  
行つた。  
行つた。

### 開業御披露

過般の火災で弊店も類焼致しましたが一時凌ぎのバラックが出来ましたので本日より開業する事になりました。何卒火災後の御同情と營來の御愛顧にて倍舊の御最負御引立の程お願い致します。

尚ほ御出前も迅速に配達致します。

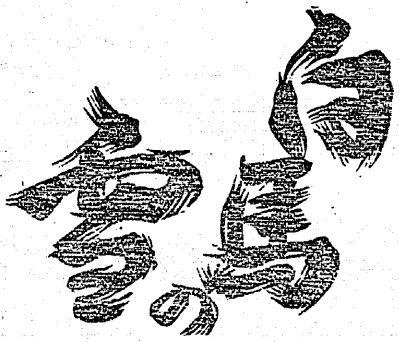
平町田町

酒喜屋

電話一七一七番

優等賞入選

酒銘醇芳



キユノバクハ

去る十八日より二十日迄平稅務署に於て開催された石城酒造組合主催第十三回清酒吟酒會に於て三點とも最優等賞を得たり。

平町二丁目一

白馬の雪營業所

辰の日本家 松本 徳一  
電話一五二八五 本營業所

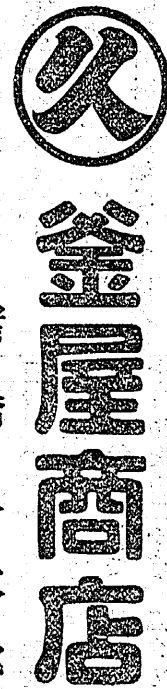
平看護婦會

會長 清野 キヨ

平町字南町 電話三〇七番

看護婦派出の需めに應じます

和洋銅鐵金物問屋



釜屋商店

諸橋久太郎  
電話九九九番

公債

勸業債券

高價買入

電話賣買

御一報次第店員參上可仕候

平町五丁目二二

佐々木株式会社

電話二五三三番

かまぼく製造

折詰造

平町一丁目

お惣菜用 さつま揚 吉原揚 不藤寅  
電話一四一番

貸切御用命

三井自動車部へ

電話六八五番

乗合は 好間合戸澤渡方面行

カクテル  
17キタラテシ352  
レストラン サロン

腸胃科 専門  
虫十二指腸病  
内村松村  
平町南町(電話一七〇)

三井無盡社  
許免臣大藏大  
社會盡無用信本湯  
番七四話電

レコード破りの石炭大特賣

磐城炭礦二等級炭

正味十貫匁一俵金卅錢也

「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は此度超破格の格安石炭を販賣開始致します。値が安くとも品は悪くはありません。磐城炭礦の處分的大堀出物です、品物の無くならない中に御注文下さい。

配達は一俵より致します

御注文は

電話三三七番へ

平停車場前

阿部石炭商店

平町田町(電話五二三番)

高久病院

醫學士 高久 忠清  
新瀨醫學士 赤羽 雄  
藥劑士 佐竹 菊  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

スポンジ  
品質第一位  
平町五丁目  
山邊藥局

消費節約  
品質第一位  
家庭染料  
みやぶ染  
平町一丁目  
大平や藥店  
電話四六二番